

資料 5 黒瀬川水系流域治水プロジェクト 更新（案）

令和元年東日本台風では、全国各地で甚大な被害が発生したことを踏まえ、黒瀬川水系においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取組みを実施していくことで、甚大な被害を生じさせた昭和60年7月洪水と同規模の洪水による浸水被害の解消を図る。



●黒瀬川では、県、市が一体となって以下の手順の「流域治水」を推進する。

【短期】下蔵橋の架替によりボトルネック部を解消する。

大谷ダムにおける事前放流等の基本協定の締結、体制構築・実施を行うことにより、洪水被害を軽減する。

【中期】流下能力不足解消のため、黒瀬川の整備を実施する。

【中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、河道掘削などの維持管理を実施する。

●あわせて越水、溢水の頻発箇所へは、必要に応じて、水位計や監視カメラを設置し、WEB上への配信追加・周知などを行うことにより、避難判断に役立てる。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	黒瀬川の整備(河床掘削、堤防整備、橋梁架替等)	富山県	前沢橋等の架替によりボトルネック部を解消 下蔵橋の架替によりボトルネック部を解消		
	大谷ダムにおける事前放流の実施	富山県			
	森林整備・治山対策	富山県			
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組(防災指針策定など)	黒部市	立地適正化計画への防災指針の記載と取組など		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知、浸水実績の周知	富山県 黒部市			
	水位計・監視カメラの活用	富山県	必要に応じて、越水、溢水の頻発箇所への設置やWEB上への配信追加・周知など		

【事業費(R6年度以降の残事業費)】

■河川対策
全体事業費 18.0億円※
黒瀬川の整備 等

※県の河川整備計画の残事業費を記載

気候変動を
踏まえた
さらなる対策を
推進

(様式: 取組事例)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山県
メニュー名	河川改修(堤防整備 護岸工)		
事業・施策の名称	河川改修(堤防整備 護岸工)		
実施場所	黒瀬川		

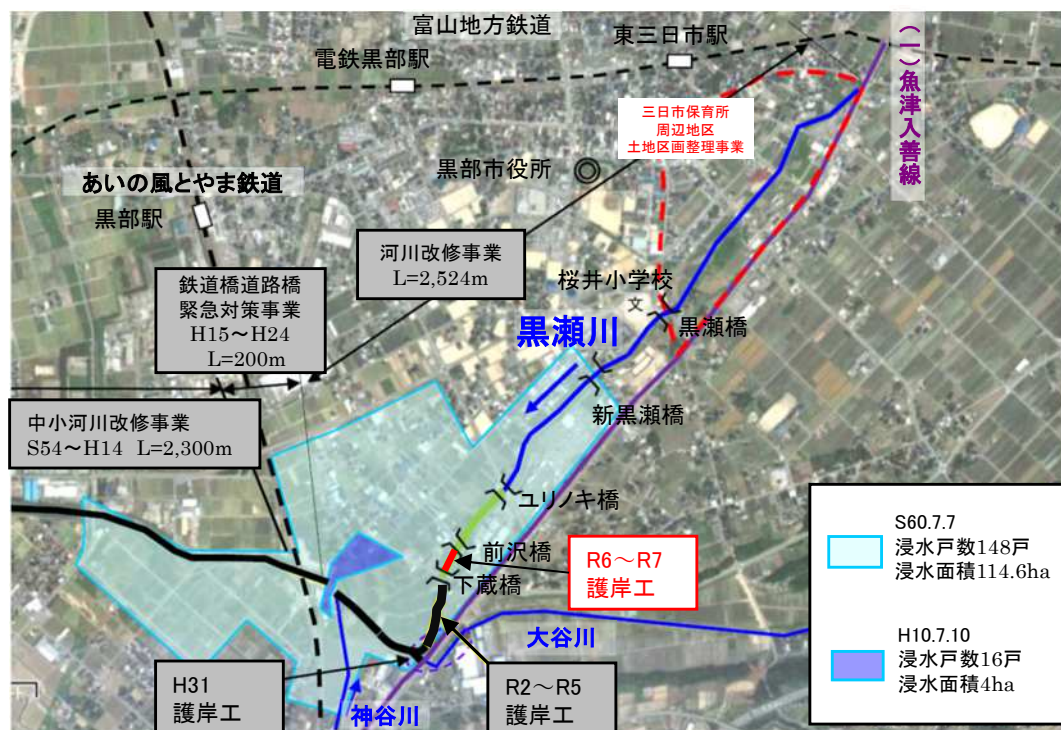
【対策概要】

黒瀬川は、黒部市南部の丘陵地から富山湾へ注ぐ河川であるが、狭く蛇行していることから、たびたび浸水被害が発生している。昭和54年より事業に着手し、平成15年度にはボトルネックとなっていたJR橋及び県道橋の架替をすすめ、現在も護岸工の整備を鋭意進めている。

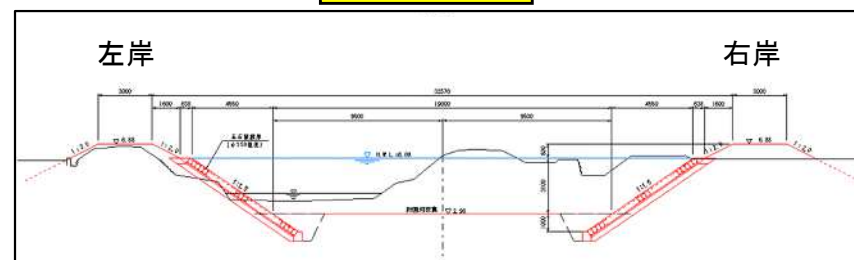
【事業内容】

事業期間 : 昭和54年～

内 容 : 計画延長 5,024m (河床掘削、堤防整備(護岸工)、橋梁架替、用地補償)



黒瀬川の整備



大谷川合流地点出水時 H10.7



整備後 H31完成



(様式:取組事例)

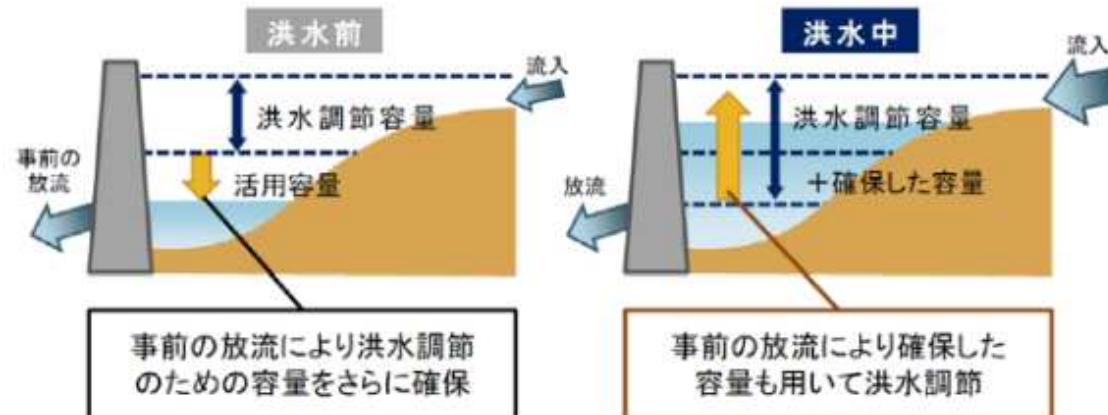
区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山県
メニュー名	大谷ダムにおける事前放流(実施)		
事業・施策の名称	大谷ダムにおける事前放流(実施)		
実施場所	黒部市 大谷ダム		

【対策概要】

大谷ダムにおける事前放流等の実施等



緊急時において既存ダムの利水容量を洪水調節に最大限活用し、ダム下流の浸水被害の軽減及び避難時間をかせぐ



大谷ダムは、大谷川総合開発事業の一環として、黒瀬川水系大谷川の黒部市吉城寺地先に、洪水調節・既得取水の安定化及び河川環境の保全・消流雪用水の確保を目的とする多目的ダムとして平成10年に完成しました。

目的 F,N,Es
集水面積 1.5km²
ダム高 29.5m

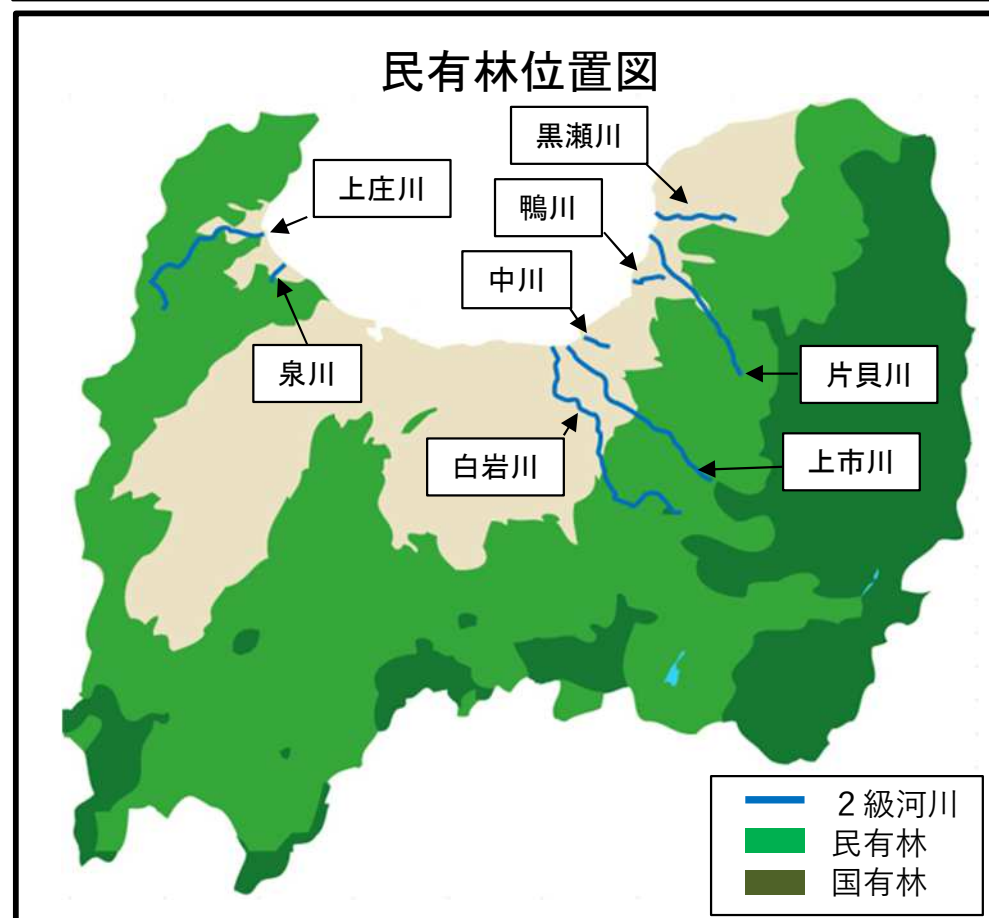
ダム型式 ゾーン型アースフィルダム
湛水面積 0.036km²
総貯水容量 325千m³

(様式: 取組事例)

区 分	氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	実施機関	富山県
メニュー名	森林整備・治山対策		
事業・施策の名称	森林整備・治山対策(間伐 治山工)民有林内		
実施場所	黒瀬川流域		

【対策概要】

山地災害から住民の生命や財産を守るため、気象等が起因の山地災害により機能が低下した森林や溪流を対象に森林整備(間伐等)や治山施設の設置を併せて実施することにより、森林等の機能回復を図る。



森林の整備

間伐

(事例) 魚津市東城地内

治山施設の設置

流木捕捉式治山ダム

(事例) 南砺市大鋸屋地内



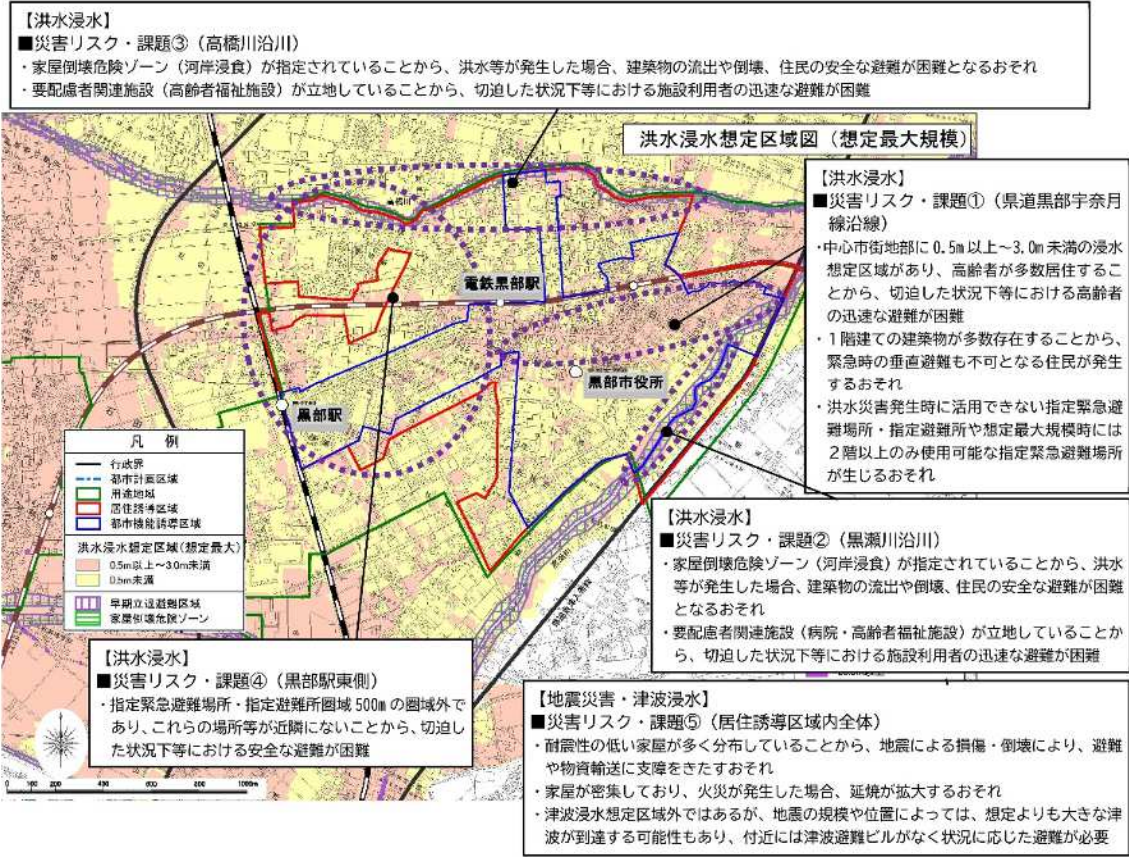
(様式: 取組事例)

区 分	被害対象を減少させるための対策	実施機関	黒部市
メニュー名	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組(防災指針策定など)		
事業・施策の名称	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組(防災指針策定など)		
実施場所	黒瀬川流域		

【対策概要】
「安全なまちづくり」に向け、令和6年3月に立地適正化計画への防災指針の追加を行いました。

■主な災害リスクと課題の整理

災害リスクの重ね合わせ分析を踏まえ、災害リスクの高いエリアを抽出し、各エリアにおける主な災害リスクと課題を以下に示します。



■具体的な取組

課題解決に向けた防災・減災対策の具体的な取組として、ハード・ソフトの両面から災害リスクの低減に必要な取組を設定します。

取組方針	具体的な取組	実施主体	実施時期		
			5年	10年	20年
リスク低減（ハード）	市街地整備事業	土地区画整理事業の推進	市		
	河川事業	河川改修事業の促進、霞堤の保全※1	国・県・市		
	砂防事業	黒部川上流域などの崩壊対策事業の促進	国・県・市		
	森林整備事業	森林施業・治山工事の推進	県・市		
	総合的な都市計画策定とまちづくり	家屋倒壊危険ゾーンの取扱い検討	市		
リスク低減（ソフト）	住環境整備事業	建築物の耐震化への支援・不燃化の促進	市		
	防災対策事業	地域防災体制及び防災基盤の整備推進	市		
		自主防災組織の育成支援	県・市・その他		
		防災情報システムの充実	市		
		災害に対する意識啓発活動の推進	市		

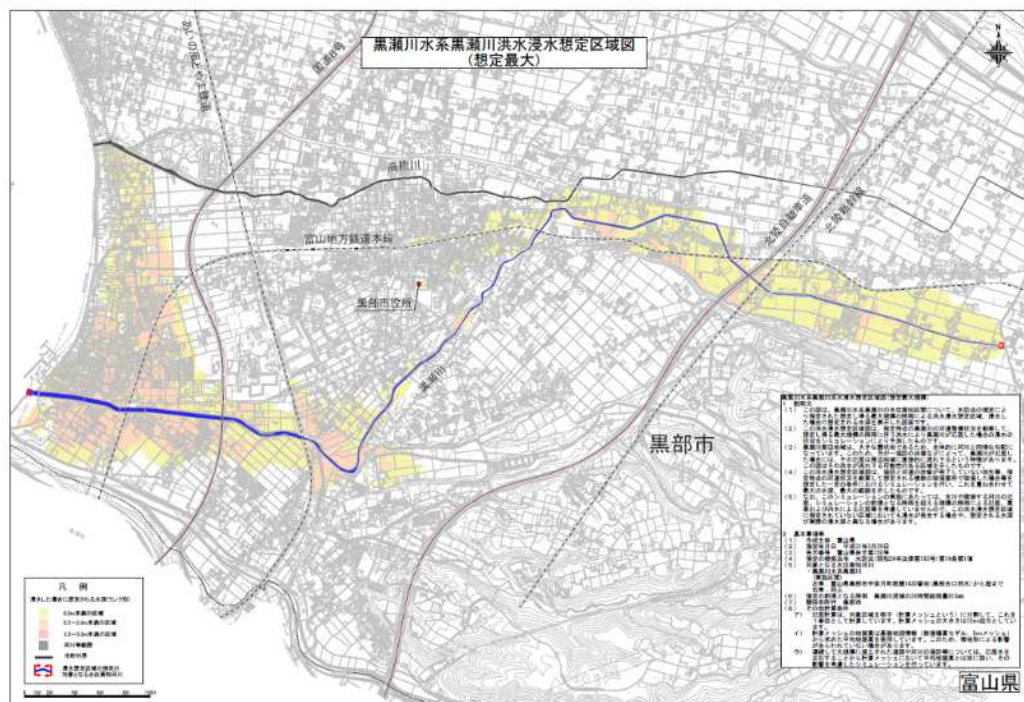
※1 霞堤は氾濫水を河道に戻す、氾濫拡大を防ぐ機能が期待されるが、霞堤内の盛土や工作物により機能を阻害する可能性があることから、霞堤の機能を保全するため土地利用のルールについて検討が必要

(様式: 取組事例)

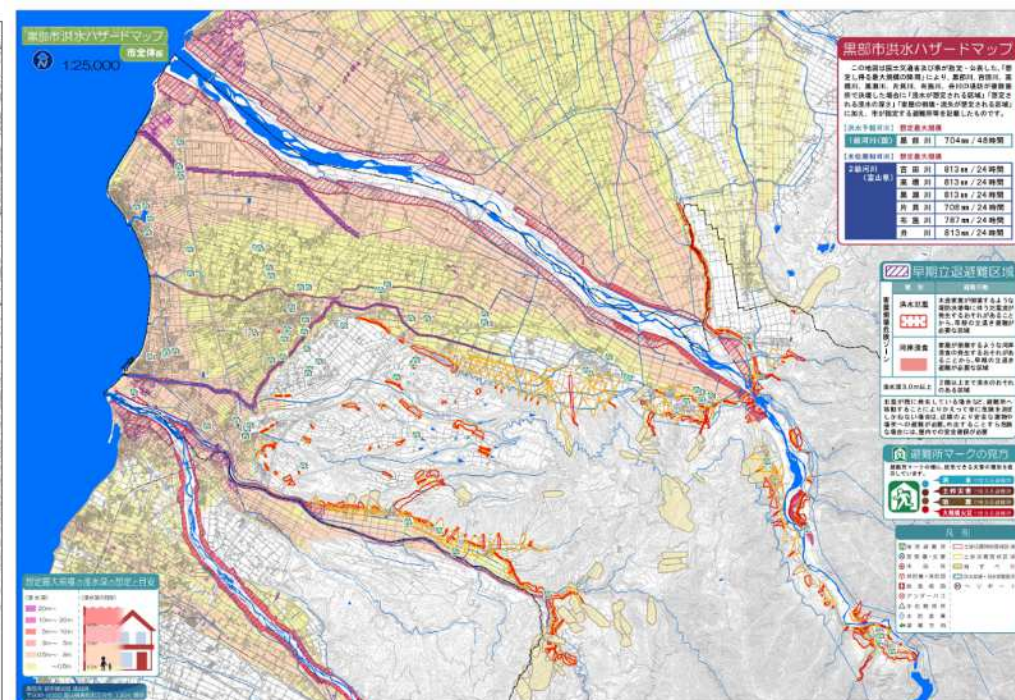
区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県、黒部市
メニュー名	災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知、浸水実績の周知		
事業・施策の名称	災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知、浸水実績の周知		
実施場所	黒瀬川流域		

令和元年6月14日に、県内全ての水位周知河川(41河川)について、想定しうる最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域図の公表が完了しました。

それに基づき、増水し、堤防からあふれたり、堤防が壊れたりした場合の浸水情報や、避難に関する情報をわかりやすく提供するために、「洪水ハザードマップ」を作成しています。



黒瀬川浸水想定図(想定最大規模)



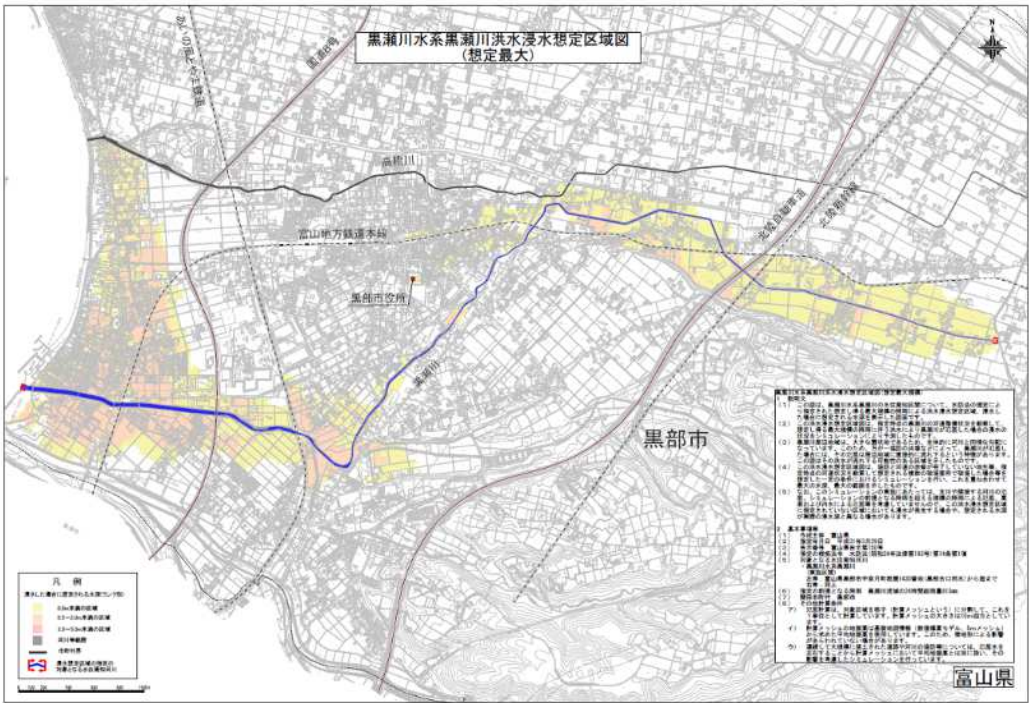
黒部市洪水ハザードマップ(想定最大規模)

(様式：取組事例)

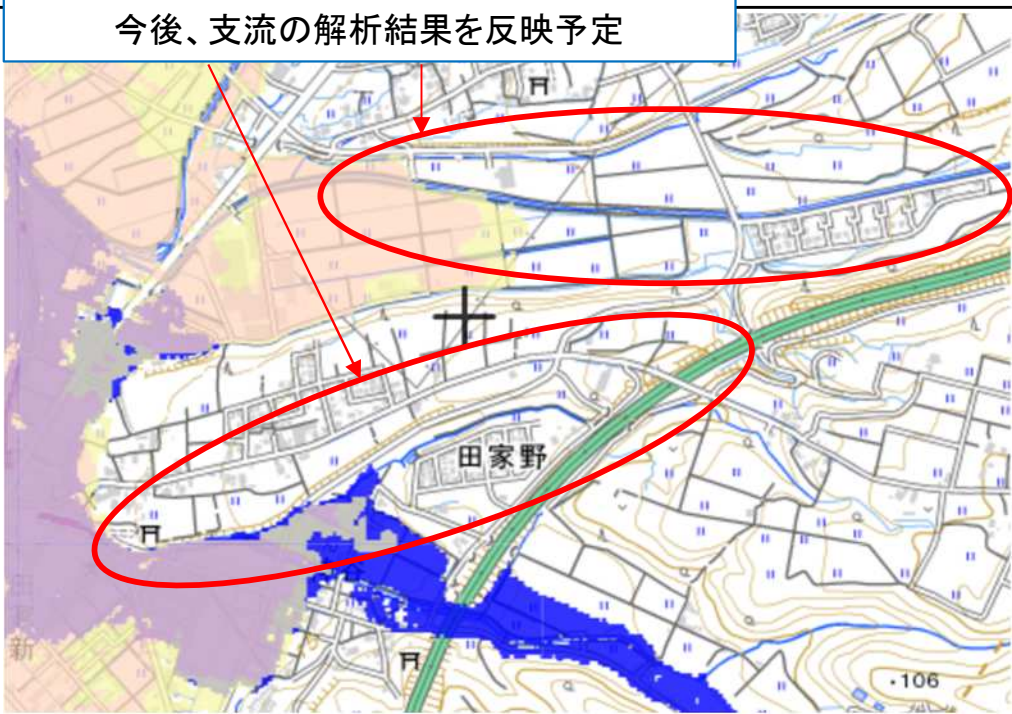
区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
実施機関	富山県、黒部市
メニュー名	避難のためのハザード情報の整備
事業・施策の名称	洪水浸水想定区域図の作成
実施場所	黒瀬川支流の県管理河川

令和3年改正水防法に基づき、人家等防護対象が存する全ての河川について、浸水想定区域図の作成が義務付けられました。黒瀬川支流の県管理河川についても、令和7年度の出水期前までに洪水浸水想定区域図を作成することを目標に取り組んでいます。

【取組実績】令和4年3月～ 対象河川の選定・解析手法の検討を実施
令和6年度 洪水浸水想定区域図作成委託業務実施



参考例：黒瀬川（本川）（水位周知河川）洪水浸水想定図（想定最大規模）



黒瀬川支流の河川（例：大谷川、神谷川）

(様式: 取組事例)

区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県
メニュー名	水位計・監視カメラの活用		
事業・施策の名称	河川状況等ライブカメラ情報		
実施場所	県管理の水位周知河川の水位観測所等		

洪水時における住民の自主避難や市町村長の避難指示等の判断を支援するため、河川監視カメラの画像や県管理の水位周知河川等の水位状況をインターネットを通じて一般公開している。

【実施概要】

- ・ 公開開始日:平成30年6月～【R4.3月リニューアル、R5.3月改修(危機管理型水位計のリアルタイムデータが閲覧可)、R6.6月改修(ダム貯水位の確認可※外部リンク、10分更新)】
- ・ 公開の内容:河川海岸カメラ画像情報(静止画:5分更新)、県管理河川の水位情報等
- ・ 公開HP :「富山県河川海岸カメラ・水位情報」 <https://kawa.pref.toyama.jp/camera>



河川監視カメラ設置状況



(様式: 取組事例)

区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県
メニュー名	水位計・監視カメラの活用		
事業・施策の名称	「とやま河川(かわ)メール」配信サービス		
実施場所	県管理の水位周知河川の水位、ダム貯水位情報		

とやま河川(かわ)メールは、富山県が管理する河川の水位やダムの貯水位が基準値を超えた場合に、登録された方へスマートフォンやパソコン、携帯電話にメールを配信するサービスです。洪水時における避難行動や水防団の水防活動などにご活用いただけます。

【実施概要】・配信開始日: 令和6年6月21日

・配信の内容: 受け取りたい河川(46観測所)の水位(4段階)や、ダム(16箇所)の貯水位(3段階)の各基準値(選択可)を超えた場合にメールを配信

とやま河川メール

富山県が管理する河川の水位やダムの貯水位の情報をメールでお知らせします

受け取りたい河川の水位やダムの貯水位が登録した基準値を超えた場合に、スマートフォンやパソコン、携帯電話にメールが配信されます。

河川が増水し
水位の基準値を
超えると

自動的にメールを配信

登録ユーザー

ダムの貯水位が
上昇し、基準値を
超えると

事前に受け取りたい観測所やダムの情報を登録
(〇〇観測所の〇〇水位)

自動的にメールを配信

配信内容

水位観測所やダム、基準値を選ぶことができます。

配信項目	基準値
河川水位 (46箇所)	・ 氾濫危険水位 (レベル4) ・ 避難判断水位 (レベル3) ・ 氾濫注意水位 (レベル2) ・ 水防団待機水位 (レベル1)
ダム貯水位 (16ダム)	洪水調節容量における貯留割合が ・ 100%の貯水位 ・ 80%の貯水位 ・ 50%の貯水位

【参考】各基準値の内容

河川水位

ダム貯水位

登録はこちら▶▶▶



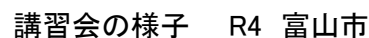
以下URLからも登録可能です

<https://plus.sugumail.com/usr/toyama-pref/home>

区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県、黒部市
メニュー名	要配慮者利用施設避難確保計画の作成及び支援		
事業・施策の名称	要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進		
実施場所	(対象:市町村地域防災計画で指定された要配慮者利用施設)		

【取組実績】

- ・令和元年度：南砺市、入善町、黒部市にて講習会
- ・令和2年度：魚津市にて講習会
- ・令和3年度：富山市にて講習会
- ・令和4年度：富山市にて講習会
- ・県内の要配慮者利用施設1,660施設中1,519施設（91.5%）で計画を作成済み（R6.9.30時点）

[illegible]

簡易な計画ひな型 (国交省)

(様式:取組事例)

区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	黒部市、住民
メニュー名	避難訓練への住民参加促進及び住民参加		
事業・施策の名称	自主防災組織によるマイタイムライン訓練の実施		
実施場所	地区自主防災組織		

自主防災組織の結成以来、様々な災害に備えた訓練を実施してきた中、令和6年度では水害時の避難行動に焦点を当て、研修を通じて確認・学習を行い、災害対応力の向上を目指したもの。

【取組実績】

- ・ 実施地区：荻生自主防災連合会
- ・ 実施日：令和6年8月31日（土）
- ・ 場 所：荻生公民館
- ・ 内 容：マイタイムライン作成訓練



区 分	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	実施機関	富山県
メニュー名	水防災教育（出前講座の活用）		
事業・施策の名称	出前講座等の活用		
実施場所	県内の小学校		

【取組実績】

【今、大変なんです！】

品川・品川の観測点品川50mm以上の降雨の発生回数

※品川50mm以上の降雨は品川50mm以上の降雨

年	発生回数
1960	10
1961	1
1962	1
1963	1
1964	1
1965	1
1966	1
1967	1
1968	1
1969	1
1970	1
1971	1
1972	1
1973	1
1974	1
1975	1
1976	1
1977	1
1978	1
1979	1
1980	1
1981	1
1982	1
1983	1
1984	1
1985	1
1986	1
1987	1
1988	1
1989	1
1990	1
1991	1
1992	1
1993	1
1994	1
1995	1
1996	1
1997	1
1998	1
1999	1
2000	1
2001	1
2002	1
2003	1
2004	1
2005	1
2006	1
2007	1
2008	1
2009	1
2010	1
2011	1
2012	1
2013	1
2014	1

今年(2014)は品川50mm以上の降雨が110mm以上の雨が降った

子供の顔の高さに水がくる

地面が見えない

13